

ハウスボートクラブ、葬祭業者向けに 東京・羽田沖で模擬散骨体験クルーズ

去る7月24日、散骨事業を展開する株式会社ハウスボートクラブ（本社東京都江東区、社長保志場ますみ氏）は、東京湾内で葬祭業者向けに海洋散骨体験クルーズを実施した。同社は、昨年4月から海洋散骨を開始し、現在、提携葬儀社は33社を数える。

葬祭業者に向けた模擬散骨は今回がはじめてとなる。当日は、全長17.5m、50人乗りのクルーザー「LENNON」を使用。参加の葬祭業者14人が乗船、船内で船長が航路説明などを行なったのち、散骨まで約30分の航海に出た。

当日のスケジュールは、(1)散骨ポイントまでの航路上での「模擬お別れの会」、(2)羽田空港沖合いにて「模擬散骨」、(3)お台場海浜公園沖にて「会食」、という3つのセレモニーを組んだプラン。お別れの会は、喪主あいさつと別れの言葉、献花の構成。散骨は、参加者1人ずつ、

花びらを海に投げ入れたのち、遺灰に見立てた塩を撒いた。その後、お台場海浜公園沖にて専属シェフによるイタリアンビュッフェが振る舞われた。会食後、お台場海浜公園沖を出発する前に質疑応答の時間が設けられ、参加者は、実際のサービス内容や料金体系など熱心に質問していた。

当日のスケジュール

11:20 乗船 ①	13:20 黙祷 ④
11:25 航路・お別れ会の説明 ②	13:23 散骨ポイントを3周旋回
11:30 出港後、喪主あいさつ	13:45 お台場海浜公園沖
11:32 別れの言葉	13:55 献杯・会食 ⑤
11:40 献花	14:30 お台場発
11:55 散骨ポイントへ航海	14:50 下船
12:40 散骨 ③	



② 出航前、航路やお別れ会の内容を説明



① 東京・晴海の「朝潮小船のりば」にて乗船



③ 散骨ポイントは羽田空港沖。1人ずつ花びらを投げ入れたのち、遺灰に見立てた塩を撒いた



④ 散骨後の黙祷の間、鐘が10回鳴らされた



⑤ お台場海浜公園沖での会食時の献杯

株式会社ハウスボートクラブ

- 所在地 東京都江東区白河4-1-17
- 連絡先 03-3643-3642
- U R L <http://www.352.co.jp/>